

「ICT技術による農作物販売支援」プロジェクト

代表者	山崎敦子【教授】(工学部 情報通信工学科)
構成員	横井 宏昭(理工学研究科 システム理工学専攻) 平山雄一郎、平井恵悟(システム理工学部 機械制御システム学科)

日本の農作物販売の課題・プロジェクト目的



日本の農家

- ✓ 95%は小規模農家
- ✓ それぞれの栽培へのこだわり存在
- ✓ JA等の組織に属し商品販売

販売状況

- ✓ 査定基準へのこだわりの反映が希薄
- ✓ 利益の一部を組織に支払う
- ✓ 多くのブランド米が混在

プロジェクト目的

大きな利益のため自身でスマートは商品販売

農家の現状と要求



日本の農家

- ✓ 約70%が農業以外に仕事がある兼業農家

販売状況

- ✓ 資金・人材・時間の不足
- ✓ うまい商品の特微宣伝が困難

農家の要求

- ✓ 特徴の宣伝方法
- ✓ 手間・資金不必要

若手農家への支援

山梨県で漢方肥料を用いた無農薬で天日干しのコメを生産する若手農家への支援

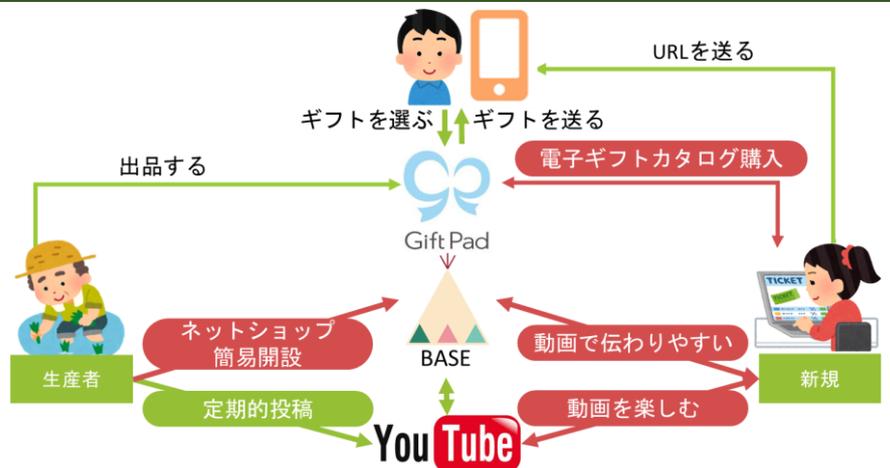
おいしいお米を子供に
若手農家へのインタビュー結果

YouTubeで農業疑似体験



- 販売予定の若手農家の新商品
- 【商品名】お結び
 - 【商品の特微】
 - ・漢方による完全無農薬
 - ・昔ながらの天日干し
 - ・南アルプスの天然水、土壌
 - ・国際名稻会ベストファーマ賞

インターネットによるブランド米の販売促進



ブランド米宣伝に動画を活用する方策ダイアグラム

- ✓ 資金・人材・時間が不要な販売モデルおよびマニュアルの作成
- ✓ 販売ルートを実際に試験作成
- ✓ 宣伝のプロトタイプの実験作成